

行政視察等報告書

令和2年1月31日

米子市議会議長様

会派名 信風  
代表者氏名 中田利幸  
提出者氏名 伊藤ひろえ



下記のとおり報告します。

記

項目	<input type="checkbox"/> 現地調査 <input type="checkbox"/> 行政視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input checked="" type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加
参加者	伊藤ひろえ
期間	令和2年1月25日
〔概要〕（年月日・場所・内容） 令和2年1月25日（土） 場所：星陵会館（東京都千代田区永田町2丁目16-2） 内容：「認定NPO法人児童虐待防止全国ネットワーク第29回シンポジウム ～メンタルヘルス問題のある親とその子どもに対する在宅支援を考える～」 ●基調講演「子どもの虐待死を防ぐために ～メンタルヘルスの問題を抱える保護者への支援～」 ●シンポジウム 「応援ミーティング～当事者と支援者が共に安心を創り出す場～」 「家族を視野に入れた支援のために～精神保健福祉士ができること～」 「在宅支援で子どもの権利は守れるか～親と子の支援は表裏一体～」 ●パネルディスカッション 「メンタルヘルス問題のある親とその子どもに対する支援を考える」	
〔所感〕 別紙のとおり	
経費	旅費総額 52,200円

## 研修会参加報告

### 児童虐待防止全国ネットワーク 第29回シンポジウム

～メンタルヘルス問題のある親子とその子どもに対する在宅支援を考える～

2020年1月25日

東京都 星陵会館

児童虐待防止全国ネットワークは、2001年、「児童虐待防止法の改正を求める全国ネットワーク」として誕生。2000年に児童虐待防止法が施行され、子ども虐待に対する本格的な取り組みが始まったが、法律の内容や制度は、不十分として、子どもの福祉専門職に対し、子ども虐待の防止、子どもの福祉の増進を目的に、意見交換・情報交換を行うとともに、法制度改正を求めるソーシャル・アクションを行う団体として活動を継続している。

#### ■基調講演

##### 子どもの虐待死を防ぐために

～メンタルヘルス問題を抱える保護者への支援～

川崎 二三彦 氏（子どもの虹情報研修センター・センター長）

厚生労働省が毎年報告している「子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について（第15次報告）」から、虐待死について「精神疾患のある養育者における事例について」所見、分析等説明があった。また、さらに詳しく、ジェノグラム（家系図）をあらわしながら事例検討や検証も行われた。行政の役割や支援者の関与など重要なことを学ぶことができた。

#### ■シンポジウム

##### ①「在宅支援で子どもの権利は守れるか～親と子の支援は表裏一体～」

渡辺 好恵 氏（特定非営利活動法人 埼玉子どもを虐待から守る会 保健師）

保健師の立場から、母子保健と精神保健の目的と子ども虐待への介入方法は共通点が多いとのこと。親子が地域で暮らすことの重要性、子ども支援とあわせて親（養育者）支援が必要なことを訴えられた。

子ども支援に在宅支援はないと言われたこと、また、特定妊婦支援の課題にもふれられ改善が必要だと言われたことに共感できた。

##### ②「家族を視野に入れた支援のために～精神保健福祉士ができること～」

加藤 雅江 氏（杏林大学医学部附属病院 精神保健福祉士）

周産期の死亡原因は自殺が最多、うつ病有病率は5.6%に対し妊娠中は11%、産後うつの半数は妊娠中に発症、10代の出産は一日27人など、妊娠期の寄り添いながら支援をしていくことの必要性を実感した。

また、家庭の中でのできごとは課題として捉えにくく、親や地域住民は「しつけ」と思い込み不適切な関わりであっても子ども虐待と認識できず対応が遅れてしまうなど課題が明らかとなった。課題解決の見通しを共有しながら支援を継続していくことなど改めてその重要さに気づいた。

### ③「応援ミーティング～当事者と支援者が共に安心を創り出す場～」

川村 敏明 氏（浦河ひがし町診療所 院長・精神科医師）

伊藤 恵理子 氏（浦河ひがし町診療所 ソーシャルワーカー）

『精神障がいを抱える人の回復とは一病院の治療や一機関の専門援助技術だけで、よくさせようと抱え込む中に起こるのではなく、「安心」が増えることにより「人と人とのつながり」が増えて実現するものである』ということを実感できる取り組みの紹介であった。

社会的孤立をなくすために、安心とつながりが必要である。毎月の応援ミーティングにより、安心な暮らしをめざし協働して研究している。そのような取り組みを通じて、自身のトラウマに立ち向かい、自己肯定感をふくらませ、抱えている課題に取り組む力も育ってくる。実際の困難事例を紹介された。当事者が支援者とともに強く繋がりながら生きている様子が心に強く残った。

### ■パネルディスカッション

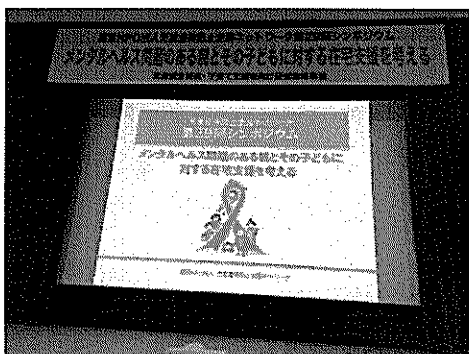
「メンタルヘルス問題のある親とその子どもに対する在宅支援を考える」

司会・コーディネーター 吉田 恒雄 氏（児童虐待防止全国ネットワーク理事長）

会場から出た質問に答える形で進められた。児童虐待防止に向けて、さらに検証するべき課題（親子心中）や在宅支援が重要だと言われながら現状では困難だということが見えてきた。子ども目線での支援の必要性を確認し閉会となった。

### （所感）

大変参考となる研修であった。妊娠からの切れ目のない支援が必要だと認識はあるが、医療との連携や母子保健の充実強化は喫緊の課題であると思った。厚生労働省が虐待死の公表をしてから、1年間で約50～100の虐待死があると考えられ、生まれてすぐか生後2カ月までが多いことなど心が痛んだ。行政の支援のあり方を改めて検証しながら、全ての子どもたちが安心してくらせるようにしたいと改めて強く思った。



児童虐待防止全国ネットワーク第29回シンポジウム（星陵会館）

研修会行程 (会派：信風 伊藤 議員)

月 日	行 程
1/25 (土)	<p>9:00 米子空港 ——— 羽田空港 11:10 11:29 11:40 11:44 11:56 11:59 ANA384 便 モノレール 有楽町駅 有楽町駅 東京メトロ有楽町線・和光市行 JR 山手線内回り・東京・上野方面</p> <p>研修会「認定 NPO 法人児童虐待防止全国ネットワーク第 29 回シンポジウム ～メンタルヘルス問題のある親と子どもに対する在宅支援を考える～」 13:00～16:40 (開場 12:30) 場所：星陵会館 (東京都千代田区永田町 2 丁目 1 6-2)</p> <p>17:05 永田町駅 17:08 17:20 17:25 17:37 17:55 20:05 21:30 東京メトロ有楽町線・新木場行 有楽町駅 有楽町駅 浜松町駅 羽田空港 米子空港 JR 山手線外回り・品川・渋谷方面 モノレール ANA389 便</p>

旅費計算表

令和2年1月25日 ~ 令和2年1月25日 (日帰り)

信風 (伊藤議員) 研修会参加

研修会「認定NPO法人児童虐待防止全国ネットワーク第29回シンポジウム  
メンタルヘルス問題のある親とその子どもに対する在宅支援を考える」

月日	区間	鉄道路線名	区キ	間数	目的地までの区数	運賃	グリーン	急行料		日	当宿泊		料
								別	新幹線		議員1,500円 随員1,100円	甲 14,800円 乙 13,300円	
1/25 (土)	米子空港 ~ 羽田空港	ANA				24,690				議員1,500円 随員1,100円	1,500		
	~ 浜松町駅	モノレール				700							
	~ 有楽町駅	JR				140							
	~ 永田駅	メトロ				170							
	永田駅 ~ 有楽町駅	メトロ				170							
	~ 浜松町駅	JR				140							
	~ 羽田空港	モノレール				700							
	~ 米子空港	ANA				24,690							
計	議員 旅行費				52,200	50,700	0	0	0	1,500	0	0	0
	随員 旅行費												
	出席 議員 伊藤ひろえ												

議員 52,200 × 1名 = 52,200  
合計 52,200 円